

MANUAL CUTTER FOR PAPER FEEDER

PURPOSE: To attractively and cleanly cut the cut end of the paper by providing a holder holding a cutter edge and slid along the opening of a bracket and a spring exciting the cutter edge put in contact with the paper to the paper side.

CONSTITUTION: When the paper is to be cut, the knob section 4e of a holder 4 is pushed down, and a cap 4d is thrust to a sliding member 5. A cutter edge 10 is brought into contact with the paper on a lower paper guide 2 and set at the cutting position. The pressure with the proper value for cutting is applied to the cutter edge 10 by a spring 7. When the holder 4 is moved under this condition, the sliding member 5 is slid on a bracket 3, the support shaft 4c of the holder 4 passes an opening 3a, the cutter edge 10 is moved while being kept in contact and thrust to the paper, thereby the paper is cut.

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平2-250792

⑤ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成2年(1990)10月8日

B 26 D 1/04

Z

7814-3C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 紙送出装置用手動カッタ

⑯ 特 願 平1-71388

⑰ 出 願 平1(1989)3月23日

⑱ 発 明 者 畑 中 俊 昭 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
 ⑲ 発 明 者 岩 本 光 正 東京都港区西新橋3丁目20番4号 日本電気エンジニアリング株式会社内
 ⑳ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号
 ㉑ 出 願 人 日本電気エンジニアリング株式会社 東京都港区西新橋3丁目20番4号
 ㉒ 代 理 人 弁理士 村田 幹雄

明 細 書

1. 発明の名称

紙送出装置用手動カッタ

2. 特許請求の範囲

紙送出装置に設けられ送出される紙を切断する紙送出装置用手動カッタにおいて、送出される紙が通過する通路を形成する上下一対の板状ペーパーガイドと、上側ペーパーガイドに設けられ紙の巾方向に沿う開口を有したブラケットと、下側ペーパーガイド上の紙に当接するカッタ刃と、このカッタ刃を保持し上記ブラケットの開口に沿って摺動する保持体と、紙に当接したカッタ刃を紙間に付勢するバネとを備えたことを特徴とする紙送出装置用手動カッタ。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は紙送出装置用手動カッタに関し、特に、ファクシミリ装置及びこれの類似装置等の紙

送出装置に用いられる手動カッタに関する。

〔従来の技術〕

従来、紙送出装置としてのファクシミリ及びこれの類似装置においては、送出される紙を手動で切断する手動カッタを備えたものがある。この手動カッタは、送出される紙の巾方向に沿ってのこ刃を有する部分を取付け、送出された紙をめくるようにしてこののこ刃に当接させ、この紙のカットを行っていた。

〔発明が解決しようとする課題〕

然しながら、上述した従来の手動カッタにあっては、この刃を有する部分による手切りなので、どうしても切り口がのこ刃状になり、見映えが悪く、また、切断ミスも生じ易いという欠点がある。

そこで、本発明の課題は、見映えを良く確実に紙の切断が行なえるようにする点にある。

〔課題を解決するための手段〕

このような課題を解決するための本発明の技術的手段は、紙送出装置に設けられ送出される紙を切断する紙送出装置用手動カッタにおいて、送出される紙が通過する通路を形成する上下一対の板状ペーパーガイドと、上側ペーパーガイドに設けられ紙の巾方向に沿う開口を有したブラケットと、下側ペーパーガイド上の紙に当接するカッタ刃と、このカッタ刃を保持し上記ブラケットの開口に沿って摺動する保持体と、紙に当接したカッタ刃を紙側に付勢するバネとを備えたものである。

【実施例】

以下、添付図面に基づいて本発明の実施例に係る紙送出装置用手動カッタについて説明する。

第1図乃至第3図に示すように、実施例に係る手動カッタは、ファクシミリ装置やこれの類似装置等の紙送出装置に取付けられるものである。これは、紙送出装置から送出される紙が通過する通

路を形成する上下一対の板状ペーパーガイド1、2を備えている。上側ペーパーガイド1には、紙の巾方向（送出方向に直角な方向）に沿って開口部1aが形成されている。また、上側ペーパーガイド1には、横断面略コ字状のブラケット3が上記開口部1aを跨いで固定されている。ブラケット3の上壁には、上記開口部1aに対応して紙の巾方向に沿う長孔状の開口3aが開設されている。

更にまた、上記上側ペーパーガイド1の開口部1aには、この開口部1aに臨んで下側ペーパーガイド2上の紙に対向し、進出して紙に当接する切断位置A（第2図）及び後退して紙から離間する離間位置B（第1図）の2位置に移動させられるカッタ刃10が配設されている。このカッタ刃10は、上記ブラケット3の開口3aに挿通される保持体4に、該カッタ刃10が上記進出及び後退可能になるよう保持されている。この保持体

4は、カッタ刃10が固定される固定板4aと、この固定板4aをバネ7を介して支持する支持板4bと、この支持板4bを支持し上記開口3aに挿通される支持軸4cと、この支持軸4cの上端に被冠されるキャップ部4dと、このキャップ部4dから突出するU字状のつまみ部4eとから構成されている。また、固定板4aと支持板4bとの間のバネ7は、カッタ刃10が紙に当接した切断位置Aにおいて、カッタ刃10を紙側に付勢し、切断に必要な押圧力を与えるものである。

また、ブラケット3上には、上記保持体4の支持軸4cが貫通し、保持体4を上記開口3aに沿って摺動させる摺動部材5が設けられている。更に、摺動部材5と保持体4のキャップ部4dとの間には、該保持体4を摺動部材5に対して支持するとともに、カッタ刃10を上記離間位置Bに付勢するスプリング6が介装されている。

従って、この実施例に係る紙送出装置用手動

カッタによれば、通常は、第1図に示すように、スプリング6の付勢力によって保持体4は上方に持ち上げられ、これにより、カッタ刃は離間位置Bに設定されている。

次に、紙をカットする時は、第2図に示すように、保持体4のつまみ部4eを押下げてキャップ部4dを摺動部材5につきあてる。これにより、カッタ刃10は下側ペーパーガイド上の紙に当接し、切断位置Aに設定される。この時、バネ7によりカッタ刃10にはカットに適当な値の圧力が与えられる。

この状態で第3図の矢印方向に保持体4を動かすと、摺動部材5がブラケット3上を摺動し、保持体4の支持軸4cが開口3aを通過するので、カッタ刃10は紙に当接して押しあてられたまま移動し、これにより、紙が切断されていく。この場合、紙はカッタ刃10で切断されるので、切り口の見映えが良く、また、紙は下側ペーパーガイ

ド2に押しあてられて動くことがないので、カットミスが防止される。

カットし終わり、保持体4のつまみ部4eを離してフリーの状態にすると、スプリング6の付勢により保持体4を介してカッタ刃10は押し上げられ下側ペーパーガイド2より離れる。これにより、紙が切り離されて取り出される。

【発明の効果】

以上説明したように本発明の紙送出装置用手動カッタによれば、カッタ刃を保持体にバネで付勢して保持させながら動かすことにより切断できるので、紙の切り口を見映え良くきれいな状態でカットでき、また、紙は下側ペーパーガイドに押しあてられて動くことがないので、カットミスを防止できるという効果がある。

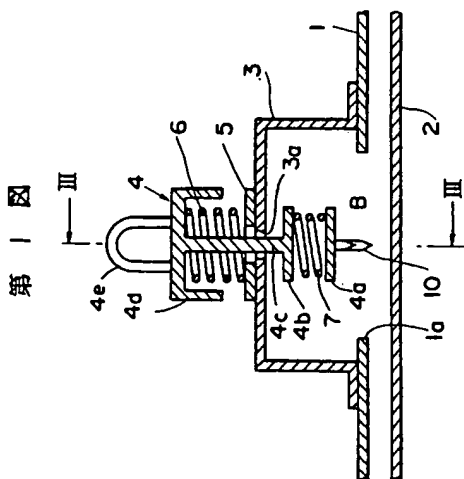
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の実施例に係る紙送出装置用手動カッタを示す縦断面図、第2図はその作用を示

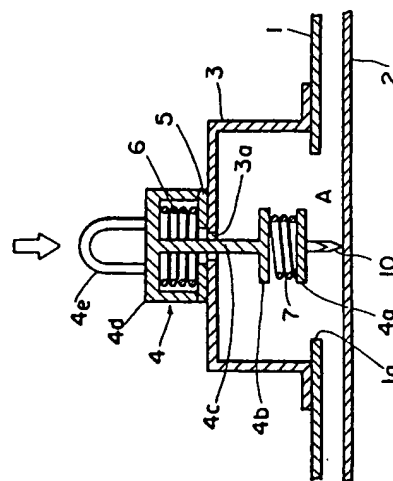
す第1図相当図、第3図は第1図中Ⅲ-Ⅲ線視断面図である。

- | | |
|--------------|---------|
| 1: 上側ペーパーガイド | |
| 2: 下側ペーパーガイド | |
| 3: ブラケット | 3a: 開口 |
| 4: 保持体 | 5: 摺動部材 |
| 6: スプリング | 7: バネ |

代理人弁理士 村田幹雄



第2図



第 3 図

